

1. 学習目標《技術分野》

- 生活や産業の中で利用されている技術について理解しよう。
- 材料と加工法について理解しよう。
- 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作について理解しよう。

学習目標《家庭科分野》

- 消費生活のしくみを理解しよう。
- 生活情報を活用して適切な商品の選択ができるようにしよう。
- 食事の役割と栄養の特徴について理解しよう。
- 中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立作成と日常食の調理ができるようにしよう。
- 地域の食材と食文化を理解しよう。

2. 学習内容と学習のねらい

月	題材名（学習内容）	学習のねらい
前期 技術 分野	○ガイダンス ～3年間の学習の見通し～ ○材料と加工に関する技術 家族が便利に役立つ環境を考えよう 「製作品：飾りボード」	・生活や社会における技術の役割を考える。 ・技術の進展と環境との関係について考える。 ・材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。 ・材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考える。 ・使用目的や使用条件に即した機能と構造について考える。 ・構想の表示方法を知り、製作図をかくことができる。 ・部品加工、組立て及び仕上げができる。
後期 家庭 分野	○ガイダンス ～3年間の学習の見通し～ ○食生活と自立 「健康によい食生活ができるようにしよう」 ○消費生活・環境 「賢い消費者になろう」 「環境に配慮して生活できるようにしよう」	・食事の役割と栄養素の種類と働き、中学生の栄養の特徴を理解する。 ・1日に必要な食品の種類と量を知り、1日分の献立を作成することができる。 ・用途に応じた食品の選択ができる。 ・肉・魚・野菜を使った日常食の調理調理ができる。 ～環境を意識したエコクッキング～ ・地域の食材と食文化を知る。 ・消費生活のしくみや購入方法・支払方法の特徴を理解する ・生活情報を活用して商品の選択が工夫できるようにする。 ・契約について理解し、消費生活のトラブルの予防方法・対処方法を理解する ・消費行動を振り返り、持続可能な社会を目指す

3. 評価の観点と方法（①～の観点を総合的に判断して評価します。） ◎各観点の目標に対し

◇十分に満足できると判断 → A ◇おおむね満足できると判断 → B ◇努力を要すると判断 → C

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	◇用具・工具等を正しく安全に扱い、しっかりと基本をマスターしている ◇丈夫で使いやすく、美しい（味の良い）作品が期限内に完成させられるなど ◇小テスト、定期テスト、プリント、課題等で良く理解できている ◇学んだことを理解し、スムーズに作業できる ◇仲間にも進んで説明できる など	◇忘れ物がない ◇積極的に発言できる ◇仲間の手助けができ、協力できる ◇実習・作業に真剣に取り組める ◇片付け等嫌な仕事や当番活動もしっかりできる ◇毎時間のプリントやノートをしっかりとめ、提出期限を守って提出できる など	◇基本の形に、目的に合わせた工夫を加え発想豊かに実践できる ◇課題を解決するために、進んでよりよい方法を考え、技能を身につけようとする ◇問題解決とその過程を振り返り、より良いものとなるように改善修正しようとする など

1. 学習目標《技術分野》

- エネルギー変換機器の仕組みと保守点検について理解しよう。
- エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作について理解しよう。
- 生物の生育環境と育成技術について理解しよう。
- 生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育について理解しよう。

学習目標《家庭科分野》

- 衣服の選択と手入れについて理解しよう。
- 住居の機能と住まい方について理解しよう。
- 衣生活、住生活などの生活の工夫について理解しよう。

2. 学習内容と学習のねらい

月	題材名（学習内容）	学習のねらい
前期 家庭 分野	○衣生活 目的に応じた衣服の選択・日常着の手入れと保管・生活を豊かにするものの製作・持続可能な衣生活「洗濯実習」「PCタブレットケースの作成」 ○住生活 住まいのはたらきとこちよさ・安全な住まいで安心なくらし・持続可能な住生活「掃除実習」	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 ・布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。 ・資源や環境に配慮した生活ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。 ・衣服又は住まいに関心をもち、課題をもって衣生活又は住生活について工夫し、計画を立てて実践できる。 ・資源や人に配慮した住生活ができる。
後期 技術 分野	○エネルギー変換に関する技術 家族が安全に楽しく暮らせる環境を考えよう 「製作品：ダイナモ付ラジオ」 ○生物育成に関する技術 家族でおいしく食べられるものを育成しよう 栽培品：とうもろこし	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る。 ・機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる。 ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考える。 ・製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる。 ・製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。 ・生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考える。 ・目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができる。

3. 評価の観点と方法（①～④の観点を総合的に判断して評価します。） ◎各観点の目標に対し

◇十分に満足できると判断 → A ◇おおむね満足できると判断 → B ◇努力を要すると判断 → C

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ◇用具・工具等を正しく安全に扱い、しっかりと基本をマスターしている ◇丈夫で使いやすく、美しい（味の良い）作品が期限内に完成させられるなど ◇小テスト、定期テスト、プリント、課題等で良く理解できている ◇学んだことを理解し、スムーズに作業できる ◇仲間にも進んで説明できる など 	<ul style="list-style-type: none"> ◇忘れ物がない ◇積極的に発言できる ◇仲間の手助けができ、協力できる ◇実習・作業に真剣に取り組める ◇片付け等嫌な仕事や当番活動もしっかりできる ◇毎時間のプリントやノートをしっかりとまとめ、提出期限を守って提出できる など 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基本の形に、目的に合わせた工夫を加え発想豊かに実践できる ◇課題を解決するために、進んでよりよい方法を考え、技能を身につけようとする ◇問題解決とその過程を振り返り、より良いものとなるように改善修正しようとする など

1. 学習目標

- 情報通信ネットワークと情報モラルについて理解しよう。
- デジタル作品の設計・制作について理解しよう。
- プログラムによる計測・制御について理解しよう。
- コンピュータを利用して生活を便利にしよう。

学習目標《家庭科分野》

- 幼児の発達とその生活を理解しよう
- 幼児と実際にふれあい理解を深める
- 家族や地域とのかかわりを理解し、よりよい関係をつくろう

2. 学習内容と学習のねらい

月	題材名（学習内容）	学習のねらい
1 学 期	【技術分野】 「修学旅行を振り返り、思い出の紙芝居をつくろう」 ◇プレゼンテーションソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る。 ・メディアの特徴と利用方法を知り、制作品の設計ができる。 ・多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。 ・コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。
	【家庭科分野】 自分の成長を振り返ろう 幼児の生活と遊び、心身の発達と家族の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える。 ・家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。 ・幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。
2 学 期	【技術分野】 「プログラムを作ってロボットを制御しよう」 ◇プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。 ・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる。
	【家庭科分野】 幼児の遊びと発達 「おもちゃをつくろう」 幼児とのかかわり「保育実習」	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの意義について理解する。 ・幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できる。
3 学 期	【技術分野】 「世界のたった一つのマグカップを作ろう」 ◇図形処理ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。 ・情報に関する技術の適切な評価・活用について考える。
	【家庭科分野】 家庭のはたらき、家庭生活と地域 家庭の仕事を支える社会 これからのわたしと家族	<ul style="list-style-type: none"> ・家族又は幼児の生活に関心をもち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できる。 ・これからの自分と家族とのかかわりに関心をもち、家族関係をよりよくする方法を考える。

3. 評価の観点と方法（①～④の観点を総合的に判断して評価します。）◎各観点の目標に対し

◇十分に満足できると判断 → A ◇おおむね満足できると判断 → B ◇努力を要すると判断 → C

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ◇用具・工具等を正しく安全に扱い、しっかりと基本をマスターしている ◇丈夫で使いやすく、美しい（味の良い）作品が期限内に完成させられるなど ◇小テスト、定期テスト、プリント、課題等で良く理解できている ◇学んだことを理解し、スムーズに作業できる ◇仲間にも進んで説明できる など 	<ul style="list-style-type: none"> ◇忘れ物がない ◇積極的に発言できる ◇仲間の手助けができ、協力できる ◇実習・作業に真剣に取り組める ◇片付け等嫌な仕事や当番活動もしっかりできる ◇毎時間のプリントやノートをしっかりとまとめ、提出期限を守って提出できる など 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基本の形に、目的に合わせた工夫を加え発想豊かに実践できる ◇課題を解決するために、進んでよりよい方法を考え、技能を身につけようとする ◇問題解決とその過程を振り返り、より良いものとなるように改善修正しようとする など